

一般社団法人

日本テレマン協会

2018年度活動報告書

バウハからベートーヴェンまで
日本テレマン協会
since1963



Telemann Institute Japan

CONTENTS

4 協会創立 55 周年記念特別公演

6 TOPICS

7 日本テレマン協会について

7 日本テレマン協会について

7 テレマンとは

8 延原武春

9 テレマン室内オーケストラ

9 テレマン室内合唱団

10 公演記録

10 定期演奏会

12 マンスリーコンサート

15 教会音楽シリーズ・その他の主催公演

16 依頼公演について

18 学校公演について

19 社会的活動について

20 年表

22 日本テレマン協会後援会について

22 役員名簿

22 年表

23 法人会員

23 個人会員

24 日本テレマン協会ディスコグラフィ



10月21日 特別演奏会 Vol.2 公演風景



5月29日 夏のクラシックコンサート 公演風景



2月22日 アバンザランチタイムコンサート 公演風景



6月1日 よみがえる第九 公演風景



5月29日 初夏の名曲コンサート 公演風景



12月14日 アバンザ・ランチタイムコンサート 公演風景



10月11日 興福寺落慶法要 公演風景



4月20日 古典派二重奏曲の系譜 公演風景



7月24日 ガスビル食堂コンサート 公演風景



7月7日 池田バロック・コンサート リハーサル風景



11月23日 第 回教会音楽シリーズ リハーサル風景



3月6日 神童との優雅なひととき リハーサル風景

協会創立 55周年記念 特別公演

協会創立55周年記念特別公演として2公演を実施致しました。8月2日のVol.1ではエラール社とイルムラー社のオリジナル楽器を使用したショパンとシューマンのピアノ協奏曲の公演を実施し、これまではベートーヴェンまでであったレパートリーの枠を超え、ロマン派の演目に取り組みました。10月21日のVol.2では中央公会堂を全館貸切で使用し、音楽祭として実施致しました。メイン公演では、中央公会堂に初めてテレマン室内合唱団が登場しました。両公演とも盛況でしたが、特に10月21日は1500名を超える聴衆が詰めかけ、超満員となりました。

協会創立 55周年記念特別演奏会 Vol.1

高田泰治 ショパン・シューマン ピアノ協奏曲

日時 2018年8月2日(木)18時30分開演
会場 大阪市中央公会堂中集会室
曲目 R.シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調
※イルムラー社のオリジナル楽器を使用
F.ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調
※エラール社のオリジナル楽器を使用
出演 指揮：延原武春
フォルテピアノ：高田泰治
テレマン室内オーケストラ Classic
来場者数 483名

中之島を
ウィーンに!

高田泰治 × ショパン・シューマン ピアノ協奏曲

8.2(木) 18:30
大阪市中央公会堂 中集会室

料金：一般3,000円 25歳以下1,000円
1部・2部各々
日本テレマン協会事務局
06-6345-1016 (平日10時~18時)
チケットのみ
0270-62-9999 エアロード (10~18時)
大阪・神戸エリアは販売員が直接販売

(特別公演 Vol.1 チラシ)

【大阪市中央公会堂】フロアマップ

A 大集会室 1300名	テレマン33リコーダーオーケストラ - PROGRAM - F. ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 R. シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 - PERFORMANCE - 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
B 小集会室 1415名	テレマン・リターンズ・カルテット - PROGRAM - F. ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 R. シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 - PERFORMANCE - 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
C 特別室 1415名	高田泰治 フォルテピアノ・リサイタル - PROGRAM - F. ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 R. シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 - PERFORMANCE - 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
D 会議室 1415名	佐野吉彦氏(安部賞受賞作家)による講演「教会/建築/音楽」 - PROGRAM - 佐野吉彦氏(安部賞受賞作家)による講演「教会/建築/音楽」 - PERFORMANCE - 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
館内各所 4230~1830	高田泰治の音楽祭 - PROGRAM - 高田泰治の音楽祭 - PERFORMANCE - 指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
E 中集会室 1640名	メイン公演 F.J. ハイドン：オラトリオ「四季」 - PROGRAM - F.J. ハイドン：オラトリオ「四季」(序章のみ) - PERFORMANCE - 指揮：延原武春 独唱：中村朋子(ソプラノ) 新井俊輔(テナー) 藤部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ Classic メイン公演のチケットをお持ちの方は全公演をご鑑賞いただけます。

～ご注意ください～
●チケットは1F 東側入口付近の「総合受付」にてご購入・引き換えをお願いします。
●椅子の底には限りがあつたため、立見をお願いする場合がございます。
●10:00~15:00は公会堂用が歩行者天国となります。ご乗降の際は公共の交通機関をご利用ください。
●公共交通機関でのアクセス
・大阪メトロ1号線「中央公会堂」駅下車徒歩1分
・大阪メトロ1号線「中央公会堂」駅下車徒歩1分
・産業能率大学「中央公会堂」駅下車徒歩1分

(特別公演 Vol.2 チラシ中面)





協会創立 55 周年記念特別公演 Vol.2

テレマン 55 周年音楽祭

日 時 2018 年 10 月 21 日 (日)
 会 場 大阪市中央公会堂全館
 来場者数 1 5 0 0 名

テレマン 55 リコーダーオーケストラ

開演時間 13 時
 会 場 大集会室
 演 目 A. ローゼンヘック：「カリフォルニア組曲」より
 S. マーシャル：「4つの中世の旋律」より
 中西 覚：「祭り」
 D. トンプソン：「ジュビリーワルツ」
 G.Ph. テレマン：
 組曲「ハンブルクの潮の満干」より「序曲」
 ほか
 出 演 プロデュース：北山 隆
 指揮：北山 隆・松浦孝成
 テレマン 55 リコーダーオーケストラ

テレマン・リターンズ・カルテット

開演時間 14 時 15 分
 会 場 小集会室
 曲 目 W.A. モーツァルト：弦楽四重奏曲 ほか
 出 演 テレマン・リターンズ・カルテット
 ヴァイオリン：寺西一巳・平井誠
 ヴィオラ：上野博孝 チェロ：上塚憲一

『高田泰治フォルテピアノリサイタル』

開演時間 14 時 15 分
 会 場 特別室
 曲 目 W.A. モーツァルト：ピアノ・ソナタ
 きらきら星変奏曲 ほか
 出 演 フォルテピアノ：高田泰治

佐野吉彦氏 (安井建築設計事務所 代表取締役社長) による講演
 「教会 / 建築 / 音楽」

開演時間 14 時 15 分
 会 場 2 階会議室
 内 容 1. 教会が果たす役割ー世界遺産
 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」
 をめぐってー
 2. 関西の教会建築
 3. 音楽空間としての聖堂空間

ハイドン オラトリオ「四季」

開演時間 16 時
 会 場 中集会室
 曲 目 F.J. ハイドン：オラトリオ「四季」
 出 演 指揮：延原武春
 ソプラノ：中村朋子
 テノール：新井俊稀
 バス：篠部信宏
 テレマン室内合唱団
 テレマン室内オーケストラ Classic

奥村恵美子プロデュース

大阪・ハンブルク友好都市提携 30 周年プロジェクト

「想ひの記憶」 プレ企画

会 場 館内各所
 内 容 写真展示「そこにある風景 大阪・ハンブルク」
 ハンブルク在住の写真家タイナカジュンペイに
 よる写真展示

TOPICS

マンスリーコンサートが500回を迎える

日本テレマン協会が主催するマンスリーコンサートが、2019年4月公演をもって500回を迎えました。

マンスリーコンサートは「サロンで聴く18世紀音楽」というコンセプトで、淀屋橋にあるレトロ建築「大阪倶楽部」で毎月開催しているシリーズです。初回の公演は1968年3月17日に開催されました。「ステージから降りた音楽家」と揶揄されながらも、クラシック音楽の敷居を低くしたいという気持ちで始めた公演でしたが、ヴァイオリンのゲルハルト・ボッセ氏をはじめ、フルートの金昌国氏、ヴィオラの藤原義章氏、チェロの岩崎洗氏、ピアノの小林道夫氏、ヴァイオリンのカール・ズスケ氏、バロックヴァイオリンのサイモン・スタンディジ氏な

ど、国内外を問わず著名な演奏家を招いて公演を続けて参りました。

プロの楽団の定期公演が500回を超えることはそう珍しいことではありませんが、それら全てが同じ演奏家によって成し遂げられたというケースは無いと思います。当協会のマンスリーコンサートの場合は、協会創設者であり現音楽監督・CEOでもある延原武春が、全ての公演に出演ないしプロデュースという形で携わって参りました。延原は「500回続けてこられたのも、演奏会に足を運んでくださった皆様と、その都度一緒に演奏に取り組んでくれたメンバーのおかげだと思います。4年後の協会創立60周年に向けてさらに頑張っていきたいと思っています」と語っています。



首席コンサートマスター浅井咲乃 平成30年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞

当協会首席コンサートマスターの浅井咲乃が平成30年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞いたしました。

同賞は創造的で奨励に値する芸術文化活動を通して、大阪文化の振興に貢献し、かつ将来の大阪文化を担うべき人材（個人または団体）に対し、大阪市が昭和58年度から贈呈している賞であり、「美術」「音楽」「演劇・舞踊」「大衆芸能」「文芸その他」の5部門からなり、受賞者は毎年5名以内で、概ね40歳以下となっています。受賞者は毎年12月ごろに発表され、贈呈式は毎年2月上旬ごろに大阪市中央公会堂で行われます。贈

呈式では、受賞者による活動紹介と、これまでの受賞者数名による公演が行われ、一般に公開されています。

浅井は2008年にヴァイオリン・ソリストとして登場し、ヴィヴァルディの「四季」全曲を見事に好演。日本テレマン協会・第195回定期演奏会（東京文化会館）における同曲の公演も「いま、もっとも聞きたい『四季』と言ってよい」（モーストリークラシック2011年2月号）という高い評価を得ました。2012年にはナミレコードよりヴィヴァルディ「四季」全曲、「ムガール大帝」などを収録した1stアルバムが、

2015年に2ndアルバム『『よるこび』と『かなしみ』』がリリースされました。



テレマン室内合唱団が50周年を迎え、パブロ・エスカンデ氏が指揮者に就任

2019年、テレマン室内合唱団が創立50周年を迎えました。その節目の年に、日本テレマン協会ミュージックアドバイザーのパブロ・エスカンデ氏を合唱団新指揮者として迎えました。エスカンデ氏はアルゼンチン出身で、オランダ

で作曲家、鍵盤楽器奏者、合唱指揮者として活躍。「テレマン室内合唱団が得意とする後期バロックだけでなく、中期バロックなどの新しいレパートリーに取り組んでいきたい」と抱負を述べています。



日本テレマン協会 について

日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に50年以上活動し、これまでに文化庁

芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立45周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

音楽監督・CEO：延原武春

副代表：奥田博子

ヨーロッパ総局長：高野昭夫

ミュージックディレクター／

テレマン室内合唱団指揮者：パブロ・エスカンデ

古典鍵盤楽器奏者：高田泰治

ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃

首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース

エグゼクティブ・アドヴァイザー：和田誠一郎（弁護士）

永重史郎

オフィス・アドヴァイザー：奥田忠道

アドヴァイザー：辻一郎（元毎日放送取締役）

和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）

笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）

上山信一（東京都顧問 / 大阪府市特別顧問）

事務局長：今井 良

事務局：中田吉美・山口加緒莉・後藤田裕仁子



テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、その名前をかかげた楽団を結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でもあったそうで、バッハの次男の名付け親

でもあり、また自身が音楽監督を務めていたハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」カール・フィリップ・エマニュエルを指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ヘンデルはロンドンから様々な珍しい植物をテレマン宛に送っていたそうです。さらに、テレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていることも有名な話です。

1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに嘱望されている。指揮者としてライブツィヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注が

れた。1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツィヒで開催されたバッハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドー等にも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュエ、J.P. ランバル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセ等とも親しく交流することとなる。延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台とし

てテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロックス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』9種類の異版を1年に一版ごとに取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラシカル楽器（古典派時代の楽器）で演奏。



さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙行。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年～12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン；交響曲全曲シリーズを

主催。『『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演』と『『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないか』(評：故小石忠男／日本経済新聞9月30日夕刊)等と絶賛を博するなど一際大きな話題となった。また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番(第2楽章は初稿)はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う”一日だけのオーケストラ”としてorchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲 第4番を演奏。その演奏はライヴノート・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機と

なってこのオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。かつて、アーノンクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。

2016年、日本テレマン協会のCEOに就任。2018年には第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンディジをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003年にはドイツ

のバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」(会場は大阪倶楽部4階ホール)を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウツラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

2018年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、1985年には「J.S. バッハ生誕300年記念国際音楽祭」に、日本から唯一招待され参加し現地新聞等やその外電も含め当時大きな評判となる。ホームグラウンドとも言えるべきカトリック夙川教会に於ける年4回の「教会音楽シリーズ」は、最も大きな活躍の場となっている。これまでに、ヘンデルの10種類の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演した「メサイア10年連続公演シリーズ」、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、また「延原武春の受難曲シリーズ」を開催するなど、数多くの挑戦的な試みに取り組み、多くの注目と称賛の声を集めている。

特に、大阪のザ・シンフォニーホールにて1983年にスタートした「100

人の第九」と題された公演にはテレマン室内オーケストラと共に出演し、現在でも連続的に継続中しており、人気シリーズとして関西のクラシック音楽の名物公演になっている。

創立50周年を機に、パブロ・エスカンデ氏が合唱団指揮者に、中村朋子氏がディレクターに就任した。エスカンデ氏

は、オランダで作曲家、鍵盤楽器奏者、合唱指揮者としての活躍を経て2012年来日。彼のプログラミングにより、これまで得意としてきた後期バロック時代の作品に加え、初期バロック時代の音楽にも力を入れていくこととなり、新たなレパートリーの拡大とともに、今後の更なる発展が期待される。



公演記録

【計画時】

主催公演 26公演
 特別公演 2公演
 定期演奏会 9公演
 マンスリーコンサート 10公演
 教会音楽シリーズ 3公演
 その他 2公演
 依頼公演 75公演
 合計 101公演

【報告時】

主催公演 29公演
 特別公演 2公演
 定期演奏会 9公演
 マンスリーコンサート 11公演
 教会音楽シリーズ 4公演
 その他 3公演
 依頼公演 97公演
 合計 126公演

定期演奏会 Subscription Concert

第250回定期演奏会

テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！

日時 2018年4月10日(火)18時30分開演
 会場 大阪市中央公会堂中集会室
 曲目 C.P.E. バッハ：シンフォニア ロ短調
 W.A. モーツァルト：コンチェルトーネ ハ長調
 F.J. ハイドン：交響曲 第101番 ニ長調「時計」
 出演 指揮：延原武春
 ヴァイオリン：U. ブンディース、浅井咲乃
 テレマン室内オーケストラ Classic
 来場者数 482名
 備考 首席客演コンサートマスターの U. ブンディース氏を招いての公演。モーツァルトの協奏曲の中でも演奏機会の少ない2つのヴァイオリンのためのコンチェルトーネを取り上げました。



第251回定期演奏会 古典派二重奏の系譜

日時 2018年4月22日(日)14時30分開演
 会場 東京文化会館小ホール
 曲目 シュメルツァー：ヴァイオリン・ソナタ 第4番
 G.Ph. テレマン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番
 D. カステッロ：ヴァイオリン・ソナタ 第2番
 J-M. ルクレール：ヴァイオリン・ソナタ ト短調
 C.P.E. バッハ：シンフォニア ニ長調 Wq.74
 W.A. モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ Kv.9
 B. マリーニ：ロマネスカ
 J.S. バッハ：ヴァイオリン・ソナタ BWV1021
 出演 ヴァイオリン：U. ブンディース
 チェンバロ / フォルテピアノ：高田泰治
 チェロ：曾田健
 来場者数 420名
 備考 U. ブンディース氏のプロデュースによる公演。日本では珍しい演目ばかりが並びました。

第252回定期演奏会

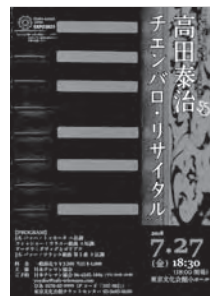
テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！

日時 2018年6月25日(月)18時30分開演
 会場 大阪市中央公会堂中集会室
 曲目 F. シューベルト：交響曲第8番「未完成」
 W.A. モーツァルト：ピアノ協奏曲第12番
 L.v. ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調
 出演 指揮：延原武春
 フォルテピアノ：高田泰治
 テレマン室内オーケストラ Classic
 来場者数 500名
 備考 クラシカル楽器を使用して古典派の演目を中心に上げた公演。シューベルトの未完成交響曲は内容的にはロマン派のもので、当協会にとって新しい分野への取り組みとなりました。



第253回定期演奏会 高田泰治 チェンバロ・リサイタル

日時 2018年7月27日(金)18時30分開演
 会場 東京文化会館小ホール
 曲目 J.S. バッハ：トッカータ ニ長調 BWV912
 フィッシャー：ウラニー組曲 ニ短調
 J. クーナウ：「聖書の物語の音楽的描写」より
 ソナタ第1番 ダヴィデとゴリアテ
 J.S. バッハ：フランス組曲第5番 ト長調
 出演 チェンバロ：高田泰治
 来場者数 428名
 備考 高田泰治によるチェンバロ・リサイタル。バッハ以前の鍵盤楽曲から、バッハの作品に至る道程を辿るプログラムでした。



第 254 回定期演奏会 ブランデンブルク協奏曲全曲公演

日 時	2018 年 11 月 18 日 (日) 14 時 30 分開演
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲
出 演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃ほか テレマン室内オーケストラ
来場者数	554 名
備 考	継続的に開催しているバッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲」全曲公演。人気の高い曲目だけあり、非常に多数の動員がありました。

第 256 回定期演奏会 高田泰治 チェンバロ・リサイタル

日 時	2018 年 12 月 2 日 (日) 14 時 30 分開演
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	451 名
備 考	継続的に開催している高田泰治によるバッハ作曲「ゴルトベルク変奏曲」の公演。

第 255 回定期演奏会 ブランデンブルク協奏曲全曲公演

日 時	2018 年 11 月 20 日 (火) 18 時 30 分開演
会 場	大阪市中央公会堂中集会室
曲 目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲
出 演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃ほか テレマン室内オーケストラ
来場者数	500 名
備 考	大阪で継続的に開催しているバッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲」全曲公演を、55 周年記念事業として東京でも開催いたしました。大阪でも人気の公演ですが、東京でも大変多くの方にご来場いただきました。

第 257 回定期演奏会
テレマンの街ハインブルクから 中之島をウィーンに！

日 時	2019 年 1 月 25 日 (金) 18 時 30 分開演
会 場	大阪市中央公会堂中集会室
曲 目	W.A. モーツァルト：音楽の冗談 Kv522 F.J. ハイドン：交響曲第 45 番 「告別」 L.v. ベートーヴェン：交響曲第 1 番 ハ長調
出 演	指揮：延原武春 テレマン室内オーケストラ Classic
来場者数	495 名
備 考	クラシカル楽器を使用し、古典派の演目を取り上げた公演。ハイドンの告別交響曲では、演奏中に奏者がろうそくを消しながら三々五々退出していくという演出も。

第 258 回定期演奏会 テレマン・プチ・アンサンブル

日 時	2019 年 1 月 31 日 (木) 18 時 30 分開演
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	G.Ph. テレマン リコーダーソナタ ハ長調 ヴァイオリンソナタ イ長調 協奏曲 イ短調 トリオ・ソナタ ニ短調 他
出 演	テレマン・プチ・アンサンブル オーボエ：延原武春 リコーダー：北山隆 ヴァイオリン：浅井咲乃 ほか
来場者数	465 名
備 考	創設メンバーであるリコーダー奏者北山隆氏を招き、テレマンの室内楽曲ばかりを取り上げました。協会創立 55 周年事業の掉尾を飾る公演となりました。



マンスリーコンサート Monthly Concert

第489回マンスリーコンサート

首席客演コンサート・マスター ウッラ・ブンディース来日公演
ルイ15世の夜会 ルクレールのフランス舞曲と娯楽音楽

日時 2018年4月24日(火)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 ルクレール：序曲 第1番 ト長調 op.13
音楽の慰め 第1番 op.6
ソナタ 第4番 ヘ長調 op.4
音楽の慰め 第2番 op.8
出演 ディレクター：延原武春
ヴァイオリン：ウッラ・ブンディース
コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数 186名
備考 U.ブンディース氏のプロデュースによる公演。
フランス・バロックを取り上げました。



第490回マンスリーコンサート

浅井咲乃プロデュース ヴァイオリンで迎えるクラシック
バロックから古典派、ロマン派、そして現代へ

日時 2018年5月25日(金)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 J.S.バッハ：パルティータ第3番 BWV1006
～プレリュード
A. ヴィヴァルディ：ソナタ ヘ長調 RV68
F.J. ハイドン：弦楽四重奏曲第77番～第2楽章
L.v. ベートーヴェン：トルコ行進曲
F. メンデルスゾーン：シンフォニア第4番
F. クライスラー：「愛の喜び」、「愛の悲しみ」
J. ハルヴェルセン：パッサカリヤ
M. ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
M. ポンセ：エストレリータ
P. サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン Op.20
出演 ヴァイオリン：浅井咲乃
ディレクター：延原武春
テレマン室内オーケストラ
来場者数 218名
備考 弦楽のための作品でバロックからロマン派への道程を辿るプログラムでした。



第491回マンスリーコンサート

55年前、「テレマン」はここから始まった！
テレマン・プチ・アンサンブル

日時 2018年7月13日(金)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 G.Ph. テレマン：
トリオ・ソナタ TWV42:F9
トリオ・ソナタ TWV42:a4
リコーダー・ソナタ TWV41:C5
四声のための協奏曲 TWV43:a3
トリオ・ソナタ TWV42:B4
トリオ・ソナタ TWV42:g5
四声のための協奏曲 TWV43:G6
出演 オーボエ：延原武春 リコーダー：北山隆
ヴァイオリン：浅井咲乃 チェロ：曾田健
チェンバロ：高田泰治
来場者数 191名
備考 協会創立55周年を記念し、創設メンバーである北山氏を迎えて室内楽作品を取り上げました。

第492回マンスリーコンサート

北山隆プロデュース
テレマンの真髓 ドッペル・コンチェルト集(二重協奏曲)！！

日時 2018年8月24日(金)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 G.Ph. テレマン：
協奏曲 イ短調 TWV52:a2
トリオ・ソナタ ハ長調 TWV42:C2
協奏曲 ヘ長調 TWV52:F1
協奏曲 イ短調 TWV52:a1
協奏曲 ホ短調 TWV52:e1
出演 リコーダー：北山隆 村田佳生
ヴァイオリン：浅井咲乃 三谷彩佳
ヴィオラ：姜隆光 ファゴット：淡島宏枝
ディレクター：延原武春
コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数 221名
備考 北山氏プロデュースの公演。二重協奏曲に焦点をあてた内容となりました。



第494回マンスリーコンサート
秋の水都を彩るイタリアン・バロック
ヴィヴァルディ 協奏曲名曲選

日時 2018年11月2日(金)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 A. ヴィヴァルディ：
歌劇《オリンピアード》—シンフォニア
ヴァイオリン協奏曲集「四季」より“秋”“冬”
2つのチェロのための協奏曲 ト短調
2つのオーボエのための協奏曲 ニ短調
2つのヴァイオリンとチェロのための協奏曲
オーボエ協奏曲 ハ長調
出演 指揮・オーボエ：延原武春
ヴァイオリン：浅井咲乃 三谷彩佳
チェロ：曾田健 鷲見敏
オーボエ：松本剛
テレマン室内オーケストラ
来場者数 198名
備考 ヴィヴァルディ作曲の協奏曲ばかりを取り上げた公演。定番の「四季」から「秋」「冬」をはじめ、2つのチェロのための協奏曲や2つのオーボエのための協奏曲など珍しい作品も取り上げました。

第495回マンスリーコンサート
高田泰治チェンバロ・リサイタル
J.S. バッハ「ゴルトベルク変奏曲」

日時 2018年12月4日(火)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988
出演 チェンバロ：高田泰治
来場者数 194名
備考 毎年恒例の高田泰治によるゴルトベルク変奏曲の公演。ブランデンブルク協奏曲全曲公演と併せて、「恒例」ということが浸透しつつあるようで、リピーターの方が増えてきました。

第493回マンスリーコンサート
フランス語で歌うシャンソン Vol.9

日時 2018年9月14日(金)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 G. ラヴェル：弦楽四重奏曲より第1・2楽章
モンマルトルの丘・古きパリの岸辺にて
オルフェ・枯葉・枯葉に寄せて・ろくでなし
サンジャンの恋人・センボン・行かないで
私の孤独・水に流して・バラ色の人生
忘れじの面影・いつものように
出演 指揮：延原武春
ヴォーカル：梨里香 永海孝 MC：今井由美
コンボ：ストンプ in TELEMANN
テレマン・アンサンブル
MC: 今井由美
来場者数 243名
備考 毎年恒例のシャンソンの公演。前半にはラヴェル作曲弦楽四重奏曲を取り上げました。

第496回マンスリーコンサート
テレマンのニューイヤーコンサート 2019

日時 2019年1月9日(水)19時開演
会場 大阪倶楽部 4F ホール
曲目 G.F. ヘンデル：トランペット組曲
A. ヴィヴァルディ：
ヴァイオリン協奏曲「春」
オーボエとヴァイオリンの為の協奏曲
G.Ph. テレマン：
「食卓の音楽」第2集 「序曲」
オーボエ協奏曲 ほか
出演 指揮・オーボエ：延原武春
ヴァイオリン：浅井咲乃
トランペット：福中明
テレマン室内オーケストラ
来場者数 225名
備考 バロック音楽によるニューイヤーコンサート。テレマンの食卓の音楽などを取り上げました。

第 497 回マンスリーコンサート

My Funny Valentine ～ヴァレンタインの夜に…～

日 時 2019年2月14日(木)19時開演
 会 場 大阪倶楽部 4F ホール
 曲 目 L. アンダーソン：舞踏会の美女
 チャドウィック：弦楽四重奏曲 第1番 第1楽章
 踊り明かそう・Shall we dance・泪のワルツ
 Changing Partners・テネシーワルツ・Too young
 キサスキサスキサス・月光値千金・モナリザ
 My Funny Valentine・帰ってくれば嬉しいわ
 ケセラセラ・When I fall in love
 I've got you under my skin・Lover's concerto
 Let Me Try Again
 出 演 指揮：延原武春
 ヴォーカル：永海孝 原田紀子 MC：今井由美
 ストンプ inTELEMANN
 テレマン・アンサンブル
 来場者数 239名
 備 考 毎年恒例のスタンダード JAZZ の公演。前半には
 アンダーソンやチャドウィックの作品を演奏。



第 498 回マンスリーコンサート

高田泰治チェンバロ・リサイタル

日 時 2019年3月12日(火)19時開演
 会 場 大阪倶楽部 4F ホール
 曲 目 J.C. バッハ：ピアノ・ソナタ ニ長調
 W.F. バッハ：ファンタジア 第6番 二短調
 J.C.F. バッハ：ピアノ・ソナタ 第6番 変ホ長調
 C.P.E. バッハ：ヴェルテンブルクソナタ 第1番
 J.S. バッハ：パルティータ 第5番 ト長調
 出 演 チェンバロ：高田泰治
 来場者数 188名
 備 考 高田泰治によるリサイタル。バッハ家の作品ばかり
 を取り上げました。

第 499 回マンスリーコンサート

2019年3月28日(木)18時30分開演

会 場 カトリック夙川教会地下聖堂
 曲 目 G.Ph. テレマン 四声部のための協奏曲
 J.S. バッハ：
 無伴奏チェロ組曲 第1番
 プレリュードとフーガ ハ長調
 トッカータ
 A. ヴィヴァルディ：2つのチェロのための協奏曲
 J. マスネ：タイスの瞑想曲
 F. クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ
 オーボエ・コーナー
 出 演 指揮：延原武春
 テレマン・アンサンブル
 来場者数 89名
 備 考 会員限定で開催した公演。終演後には懇親会を開
 催しました。

教会音楽シリーズ Church Concert

第188回教会音楽シリーズ

女声合唱が奏でる悲しみの旋律・・・

G.B. ベルゴレージ スタバト・マーテル

日時	2018年6月8日(金)18時30分開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G. グノー：ミサ曲第2番より抜粋 「アヴェ・マリア」 J. マスネ：タイスの瞑想曲 G. フォーレ：恵み深き御母マリア サルヴェ・レジーナ アヴェ・ヴェルム C. サン＝サーンス：供え物を携えて G.B. ベルゴレージ：スタバト・マーテル P.77
出演	指揮・テノール：新井俊稀 ミュージック・ディレクター、通奏低音：P. エスカンデ ディレクター：延原武春 テレマン室内合唱団 テレマン・アンサンブル
来場者数	245名
備考	有名なベルゴレージ作曲「スタバト・マーテル」をメインに、珍しい合唱曲を取り上げました。

第189回教会音楽シリーズ

Sing in メサイア

日時	2018年11月23日(金・祝)15時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G.F. ヘンデル：メサイア HWV56
出演	指揮：延原武春 ソプラノ：中村朋子 アルト：渡邊由美子 テノール：新井俊稀 バス：篠部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数	287名
備考	毎年恒例の聴衆参加型の公演。合唱愛好家の方が多数ご来場になりました。

第190回教会音楽シリーズ

季節到来！J.S. バッハ クリスマス・オラトリオ

日時	2018年12月25日(火)18時30分開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S. バッハ もろもろの国よ、主をほめ讃えよ BWV230 新しい歌を主にむかって歌え BWV225 クリスマス・オラトリオ BWV248
出演	指揮：延原武春・P. エスカンデ ソプラノ：中村朋子 アルト：伊豆田佑香 テノール・福音史家：新井俊稀 バス：篠部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数	312名
備考	毎年恒例のクリスマス・オラトリオの公演。前半は、P. エスカンデ氏の指揮でバッハのモテットを演奏しました。

第191回教会音楽シリーズ

テレマン室内合唱団創立50周年記念

古楽界の巨匠延原武春がバロック楽器で贈る大バッハの哲学世界 ヨハネ受難曲 BWV245

日時	2019年3月16日(土)15時開演
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S. バッハ：ヨハネ受難曲 BWV245
出演	指揮：延原武春 テノール・福音史家：新井俊稀 バス・イエス：篠部信宏 ソプラノ：中村朋子・渡邊有香 アルト：伊豆田佑香・渡邊由美子 テノール：小川歩 バス：林康宏 バロック・コア・テレマン コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数	259名
備考	バロック楽器を使用しました。



その他の主催公演 Other Concerts

高田泰治のフランス音楽 Vol.4

日時 2018年7月21日(土) 15時開演
会場 稲畑ホール

高田泰治のフランス音楽 Vol.5

日時 2018年11月10日(土) 15時開演
会場 稲畑ホール

上蘭剛ピアノリサイタル6

日時 2018年8月10日(金) 19時開演
会場 ザ・フェニックスホール

依頼公演 について

自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を97公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス（大阪市／ザ・シンフォニーホール）」、「三宝音楽コンサート（川西市）」、「JVC国際協力コンサート（大阪市／いずみホール）」、「ベガメサイア（宝塚市／ベ

ガホール）」、「アバンザ・ランチタイム・コンサート（大阪市／堂島アバンザ）」や「バロックコンサート（池田市／池田市民文化会館）」、「テレマンのバロックの宴（伊丹市／旧岡田家住宅・酒蔵）」、学園前公演（奈良市／学園前ホール）、テレマンコンサート in 中崎公会堂（明石市／中崎公会堂）、ティータイムコンサート（高槻市／高槻現代劇場）、ニューイヤーコンサート（堺市／堺市立上神谷支援学校）などとなっており、平成30

年度には新たにクラブツーリズム（株）や兵庫県小野市、丹波市等からのご依頼がありました。

内容としては、高田泰治のソロリサイタルから5～6名の室内楽、合唱団と楽団併せて100名程度のものまで多岐にわたり、後期バロックから古典派を中心に、幅広いコンテンツを提供致しました。





依頼公演の分布（月別）

依頼公演	(主催公演)
4月 7公演	(3公演)
5月 13公演	(1公演)
6月 13公演	(2公演)
7月 9公演	(3公演)
8月 6公演	(3公演)
9月 8公演	(1公演)
10月 8公演	(1公演)
11月 7公演	(5公演)
12月 9公演	(3公演)
(2019年)	
1月 5公演	(3公演)
2月 4公演	(1公演)
3月 8公演	(3公演)
合計 97公演	(29公演)

依頼公演の分布（地域別）

北海道	8公演	石川県		岡山県	
青森県	4公演	福井県		広島県	
岩手県	2公演	山梨県		山口県	
宮城県	8公演	長野県		徳島県	1公演
秋田県	8公演	岐阜県		香川県	
山形県		静岡県		愛媛県	
福島県		愛知県	1公演	高知県	
茨城県		三重県	1公演	福岡県	
栃木県		滋賀県		佐賀県	
群馬県		京都府	4公演	長崎県	
埼玉県		大阪府	29公演	熊本県	
千葉県		兵庫県	20公演	大分県	
東京都		奈良県	7公演	宮崎県	
神奈川県		和歌山県		鹿児島県	
新潟県		鳥取県		沖縄県	
富山県		島根県		その他	4公演

学校公演 について

依頼公演のうち、34公演は学校を対象とした公演でした。そのうち、文化庁の平成30年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—（以後 文化庁巡回公演）は30公演（15校）あり、北海道と東北地方の学校にて公演いたしました。文化庁巡回公演は鑑賞だけではなく「体験」にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては「共演」のプログラムを用意し、事前にワークショップを開催しております。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を中心に構成し、鑑賞する児童・生徒に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的には短い曲が多い

構成となっておりますが、プログラムの最後にはJ.S. バッハ作曲「管弦楽組曲 第3番」を全て聴くようになっており、「少し長い曲もきちんと全曲聴く」ということを学べるような構成となっております。また、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しております。（右写真）

その他の学校公演につきましては、学校様のご要望を取り入れつつ演奏内容を決定しておりますが、主にヴィヴァルディ作曲「四季」全曲等が主なプログラムとなっております。

をより効果的なものとする事ができます。普段授業などで使っている体育館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。

（文化芸術による子供の育成事業ホームページより）

◎巡回公演事業とは

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演

出演者
指揮/高田 健
リコーダー/村田 健生
ヴァイオリン/佐野 祐乃、三谷 彩佳
ヴィオラ/藤 隆光
チェロ/曾田 健
チェンバロ/高田 泰治
歌・朗会/渡辺 有希
テレマン室内オーケストラ

バロック音楽って何？
「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「ロマン派」など、いくつかの分類があります。「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。古くは中世と近世時代の分岐点からほぼ半ばまでにあたります。代表的な内装にはバロック、ロココ、アンデル、A. ヴェルディ、G. P. シルヴァなどです。当時の音楽は、コンソर्टと呼ばれるホールではなく、教堂や貴族の私邸で演奏されていました。どらといった所に演奏されたという点、教堂の形式

楽器について
ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。その中でも代表的な楽器がヴァイオリンです。写しにはその形が小さく、音が低い楽器にもなりました。その一方で、ヴァイオリンが「重なる」音も、チェロやコントラ

バロック時代のオーケストラや管弦楽などです。バロック音楽は、当時の人々の生活とともに関わりあっているものでした。バロック時代より前は音楽は「歌」や「舞踏」などで、この時代にヴァイオリンやチェンバロといった多くの楽器が登場し、そのおかげで音楽やソナタといった音楽のジャンルが生まれました。

ピアノの鍵盤とは、鍵盤と鍵の部分が重なって、ピアノは鍵盤をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは鍵盤をたたいて音を出します。そのピアノとチェンバロの音を出す楽器が重なったのは、バロック時代が始まってからです。

文化庁巡回公演の日程

【ワークショップ】

5月10日(木)	青森県	青森県立浪岡養護学校
5月11日(金)	青森県	平川市立松崎小学校
5月17日(木)	秋田県	三種町立山本中学校
5月29日(火)	秋田県	八峰町立八峰中学校
5月30日(水)	秋田県	能代市立二ツ井小学校
5月31日(木)	宮城県	気仙沼市立九条小学校
6月19日(火)	岩手県	奥州市立丹沢第一小学校
6月20日(水)	宮城県	塩釜市立月見ヶ丘小学校
6月21日(木)	宮城県	大崎市立古川第五小学校
6月22日(金)	宮城県	利府町立しらかし台中学校
6月26日(火)	北海道	釧路市立城山小学校
6月27日(水)	北海道	釧路市立新陽小学校
6月29日(金)	秋田県	湯沢市立稲庭小学校
7月10日(火)	北海道	奥尻町立青苗小学校
9月18日(火)	札幌市	札幌市立北翔養護学校

【本公演】

6月12日(火)	青森県	青森県立浪岡養護学校
6月13日(水)	青森県	平川市立松崎小学校
6月14日(木)	秋田県	三種町立山本中学校
6月15日(金)	秋田県	八峰町立八峰中学校
7月3日(火)	宮城県	気仙沼市立九条小学校
7月4日(水)	宮城県	大崎市立古川第五小学校
7月5日(木)	宮城県	利府町立しらかし台中学校
7月6日(金)	宮城県	塩釜市立月見ヶ丘小学校
8月28日(火)	岩手県	奥州市立丹沢第一小学校
8月29日(水)	秋田県	湯沢市立稲庭小学校
8月30日(木)	秋田県	能代市立二ツ井小学校
9月25日(火)	北海道	釧路市立城山小学校
9月26日(水)	北海道	釧路市立新陽小学校
9月28日(金)	北海道	奥尻町立青苗小学校
10月1日(月)	札幌市	札幌市立北翔養護学校

社会的活動 について

チャリティー協力

日本テレマン協会はこれまで阪神大震災やニューオーリンズのハリケーン、JR福知山線脱線事故メモリアルコンサートのほか、様々な災害へのチャリティーコンサート活動を続けてきました。クラ

シック音楽のコンサートに対する社会の受け入れ方が年々変化しつつある中で、人と人とをつなぐ場であるという理念を協会としては今後も大切にしてくついで、「チャリティーコンサート」

への参加を積極的にすすめていく方針です。

2018年度のチャリティー協力は以下の通りとなっております。

KBH 支援のためのチャリティーコンサート Vol. 9

「バッハ一族とそのゆかりの作曲家たち」

日時	2018年5月6日(日)
会場	カトリック神戸中央教会
曲目	G.Ph. テレマン： 四声のための協奏曲 二長調 A. ヴィヴァルディ：「四季」より「春」 C.P.E. バッハ：シンフォニア J.C. バッハ：チェンバロ協奏曲 J.S. バッハ： ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲
出演	指揮・オーボエ：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 テレマン室内オーケストラ



JVC 国際協力コンサート 2018

第25回大阪公演

日時	2018年12月8日(土)
会場	いずみホール
曲目	J.S. バッハ：クリスマス・オラトリオ
出演	指揮：ヨス・ファン・フェルトホーヘン ソプラノ：マリアナ・ピメンタ カウンターテノール：青木洋也 テノール：新井俊稀 バス：ペーレント・エイクハウト コードリベット・コール テレマン室内オーケストラ



再生紙の使用

マンスリーコンサート(年間10公演)のチラシ(A4サイズ)及びプログラム(B4サイズ)、定期演奏会(年間10公演)のプログラム(A3サイズ)には、環境に配慮し、100%リサイクルの再生ケント紙「クラークケント」を使用いたしました。

25歳以下1000円券

若い世代のクラシック音楽離れが顕著になっている中、18世紀音楽のすばらしさを気軽に味わって頂き、文化振興の一助になればという思いから、25歳以下の方向けに1000円券の販売を行いました。

子供向けコンサートの実施

通常の演奏会には入場出来ない未就学児向けの演奏会を、学園前ホール(日本環境マネジメント)と協力し、実施致しました。親しみやすい演目を中心に、楽器体験も盛り込みました。

年表

1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞（以後 72 と 82）

1968

マンスリーコンサートスタート（会場は津村別院）

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体
「大阪テレマン協会」となる。

1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞（以後 75 と 76）

1975

大阪府民劇場賞（以後 85）

1977

文化庁芸術祭優秀賞（関西より初受賞）
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭” に出演)
サントリー音楽賞（関西より初受賞）

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン
デビュー公演を実現。
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ
も 100 回記念演奏会を行う。
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアア
ーズ各都市で公演を行う。

1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が
発足。サイモン・スタンデイジや中野振一郎主導のもとで、
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦
初演・世界初演を行う。
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊（～ 03）

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデ
ル作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ
演奏旅行。

2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講談師・旭堂南左衛門
が共演。
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活
動に着手。
小説「延原武春」(作：中野順哉)が東方出版より出版。
【CD】「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション
「音楽絵巻」がスタート。
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。
【CD】「ラ・フォリア」
【CD】「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツ
へ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ
2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」

の復元後、世界初演を行う。

【CD】「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」

2004

【CD】「星に願いを」

2007

ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008

協会創立45周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価されCDに。

【CD】「テレマン作品集②7つのトリオ・ソナタ」

2009

【CD】「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～11)
延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。
延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。
「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010

延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011

コレギウム・ムジクム・テレマン解散。
「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第4番を演奏。
【CD】「ブラームス：交響曲第1番」
【CD】「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」
ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012

延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。
【CD】「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第4番』(「レコード芸術」特薦盤)
【CD】「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」
創立50周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013

【CD】「U.ブンディース 高田泰治 J.S.バッハ6つのソナタ」
Orchestra Japan 2011 を再結成し、3月11日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014

ブランデンブルク州知事に対し、J.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。
大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015

【CD】「高田泰治 モーツァルト・アルバム」
【CD】「U.ブンディース 高田泰治 モーツァルトヴァイオリン・ソナタ」

中野、シンポジウム「18歳の選挙権で『機嫌よう暮らす』を考える」を関西領事団とともに開催。

2016

【CD】「高田泰治 うつろい」、
【CD】「高田泰治 J.S.バッハ ゴルトベルク変奏曲」
高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。
延原武春が音楽監督兼CEOに就任。

2017

高田泰治が平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。
【CD】「U.ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」
定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018

創立55周年記念事業「テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！」を開催。
延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百周年記念「よみがえる「第九」演奏会」に出演。
【CD】「高田泰治ベートーヴェン・アルバム」

2019

浅井咲乃が平成30年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。
4月、マンスリーコンサートが500回を迎える。
5月、P.エスカンデ氏がテレマン室内合唱団指揮者に就任。

日本テレマン協会 後援会について

1980年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

役員名簿

2019年8月現在

会 長	尾崎 裕（大阪ガス）	特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
副 会 長	高田幸徳（住友生命保険） 沖中 進（朝日放送グループホールディングス）	顧 問	井戸敏三（兵庫県知事） 荒井正吾（奈良県知事） 久元喜造（神戸市長）
理 事	福田里香（パナソニック） 原 眞一（コーナン建設） 北山 隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（大阪ユニセフ協会） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 室町鐘緒（三菱 UFJ 銀行） 武市泰夫（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 穂積一郎（三井住友銀行） 小林哲也（近鉄グループホールディングス） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（日本クルーズ客船） 鳥井信吾（サントリーホールディングス） 吉田有宏（千寿製菓） 杉浦 正（共和コーポレーション） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 大林剛郎（大林組）		かれん・ケリー（アメリカ総領事） ヴェルナー・ケーラー（ドイツ総領事） セーラ・ウテン（イギリス総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） ヘラルド・ミヘルス（オランダ総領事） リャボフ・オレグ（ロシア総領事） ルイーダ・ディオダーティ（イタリア総領事） イエルーン・ヴェルゲイレン（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） ドゥシット・メーナバン（タイ総領事） 呉 泰奎（駐大阪大韓民国総領事） 多川俊映（興福寺貫首） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 池長 潤（カトリック大司教） 千 宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 高木慶子（上智大学グリーンケア研究所） 前田万葉（カトリック 枢機卿）
監 事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳 英智（三洋実業）		

年表

1980s

1980
5月発足。第1回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。

1982
3月、理事会にて顧問の設置が承認され、11月には顧問が決定。
12月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第2代目の会長に就任。

1990s

1990
10月、原清氏急逝。

1991

故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第3代目の会長に就任。

1997

7月、大西正文氏が第4代目の会長に就任。

2000s

2007

7月、野村明雄氏が第5代目の会長に就任。

2010s

2016

7月、尾崎裕氏が第6代目の会長に就任。

法人会員

2019年8月現在

株式会社アークエース	株式会社産業経済新聞社	南海電気鉄道株式会社
株式会社IHI 関西支社	三幸メリヤス株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	サントリーホールディングス株式会社	日鉄P&E株式会社
愛知時計電機株式会社大阪支店	住まいの情報 三宝商会	日本クルーズ客船株式会社
医療法人 友仁会 浅井整形外科	JFEエンジニアリング株式会社	日本生命保険相互会社
朝日放送テレビ株式会社	JFEスチール株式会社	株式会社博報堂関西支社
稲畑産業株式会社	株式会社芝川本店	パナソニック株式会社
今津建設株式会社	情報技術開発株式会社	阪急電鉄株式会社
江崎グリーコ株式会社	株式会社新川製作所	非破壊検査株式会社
株式会社遠藤克彦建築研究所	新コスモス電機株式会社	フルライン株式会社
株式会社エンボウ	シンプルライフ21	株式会社三井住友銀行
大阪ガス株式会社	住友生命保険相互会社	三菱電機株式会社
大阪ガス株式会社 東京支社	千寿製薬株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
株式会社大林組 大阪本店	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
株式会社カネカ	ダイキン工業株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
関西テレビ放送株式会社	株式会社大広	矢崎エナジーシステム株式会社 大阪支店
関西電力株式会社	株式会社大丸松坂屋百貨店	株式会社安井建築設計事務所
株式会社共和コーポレーション	株式会社大丸松坂屋百貨店	一般財団法人山田満音楽芸術振興会
近鉄グループホールディングス株式会社	株式会社竹中工務店	読売新聞大阪本社
株式会社きんでん	株式会社丹陽商会	読売テレビ放送株式会社
株式会社クボタ	株式会社帝国ホテル	学校法人LABO-K学園
株式会社公益社	株式会社電通 関西支社	株式会社りそな銀行
鴻池運輸株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	株式会社ロイヤルホテル
有限会社神戸楽譜	東京ガス株式会社	ロックペイント株式会社
株式会社公洋	東邦ガス株式会社	株式会社ワキタ
株式会社コジマ	中井エンジニアリング株式会社	匿名3社
コーナン建設株式会社	中西金属工業株式会社	
西部ガス株式会社 東京事務所	名古屋 宗次ホール	
桜宮ゴルフクラブ株式会社		

個人会員

2019年8月現在

安積 博子	小野 敏夫	小浦 早苗	直田 春夫	津田 直樹	福居 誠二	山口 敦子
天野 和生	小野 久恵	小林 誠	鷺見 和彦	David Jack	藤田 直照	山口佳恵子
池田英美代	梶原 健司	小谷 公穂	鷺見 博子	土井 英一	堀 則 明	山住 嶮植
伊藤 康夫	金多賀淑久	酒井 俊幸	鷺見 良彦	土井 周子	松本 哲生	山西 昭夫
延 秀 恵	川岸 弘賢	佐藤 晴彦	園崎 明夫	東條 良賢	松本 好史	吉田 好道
大西 國忠	菊枝 英興	里見 悦子	高田 満國	仲窪菜穂子	三木 依子	米 沢 康
大西 淑子	北浦 告三	重森 哲二	高 橋 香	中 西 守	南 茂 夫	和田誠一郎
岡村 敬二	黒笹 倫代	畠田 潤作	竹田 忠士	橋本 依子	三宅 成典	匿名29名
岡本 好平	黒田 千之	清水 淳彦	田中 佐代	廣川 信一	宮本 敏子	
小 川 寛	高 仁 宝	杉 浦 正	津越 悦郎	廣瀬 隆平	家辺 孝司	

〈敬称略・順不同〉

日本テレマン協会ディスコグラフィー Discography



- テレマン作品集1
WWCC-7406
ディレクター：中野振一郎
コレgium・ムジクム・テレマン



- バロック・オーボエ協奏曲名曲集
WWCC-7432
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



- 心のオーボエ
WWCC-7478
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



- 100人の第九
WWCC-7543
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ



- テレマン作品集2
WWCC-7567
オーボエ：延原武春
リコーダー：北山 隆



- ベートーヴェン
交響曲第1番, 第2番
WWCC-7610
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第3番「英雄」, 交響曲第4番
WWCC-7622
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第5番「運命」, 交響曲第6番「田園」
WWCC-7629
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第7番, 交響曲第8番
WWCC-7639
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
交響曲第9番「合唱付」
WWCC-7658
(クラシカル楽器使用)



- ベートーヴェン
「合唱幻想曲」 & 「ミサ曲ハ長調」
WWCC-7667
(クラシカル楽器使用)



- 高田泰治 チェンバロ・アルバム vol.1
WWCC-7684
J.S. バッハ：パルティータ 第2番
イギリス組曲 第2番 ほか



- マーラー 亡き子を偲ぶ歌, 交響曲 第4番ト長調
WWCC-7695-6 (2枚組)
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



- ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」
WWCC-7706
ヴァイオリン：浅井咲乃



- バッハ 6つのソナタ
WWCC-7715-6 (2枚組)
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ：高田泰治



- 浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」
WWCC-7758
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」
J. マスネ：タイスの瞑想曲 ほか



- ブラームス：ドイツ・レクイエム
WWCC-7778
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



- モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ
WWCC-7783
ヴァイオリン：U. ブンディース
フォルテピアノ：高田泰治



- モーツァルト・アルバム
WWCC-7788
フォルテピアノ：高田泰治
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第14番 ほか



- うつろい
WWCC-7802
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ ほか



- J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲
WWCC-7823
チェンバロ：高田泰治



- 古典派二重奏曲の系譜
WWCC-7832
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治



- 高田泰治 ベートーヴェン・アルバム
WWCC-7876
フォルテピアノ：高田泰治



- J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲
WWCC-7901-2
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ

2018年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曽根崎新地2丁目1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>

